

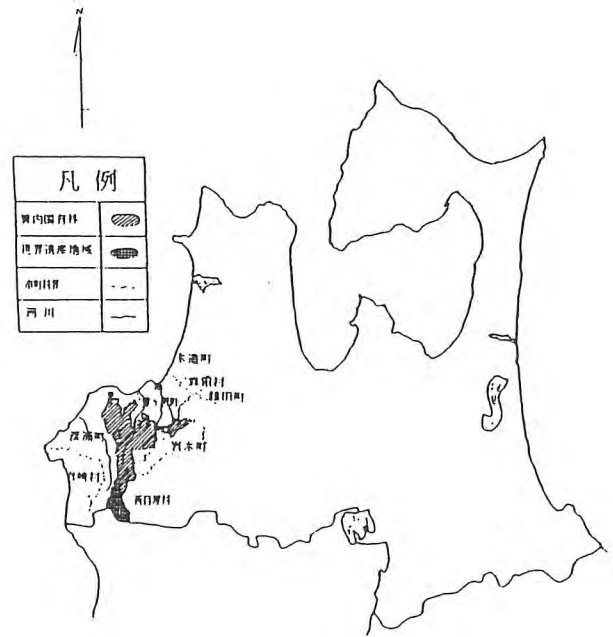
連続無災害十年を目指して

津軽森林管理署 鯉ヶ沢事務所
基幹作業職員 佐藤 重雄

1 始めに

当事務所管内は、青森県津軽半島七里長浜の南端に位置し、管轄は2町にまたがり国有林野面積は22,700haである。(図-1)

図-1 管内位置図



2 課題を取り上げた理由

当事務所では平成3年12月より今日まで無災害を継続中である。

一つの節目である3,000日をこの3月19日に控え、次の目標を設定するに当たり色々と知恵を出し合っていたところ、「十年目で一区切りつけたらどうか」との意見が多く出されたところである。

正確に十年目と言えば、平成13年12月31日と言うことになるが、先輩方が苦勞しながら積み上げて来た偉大な成果を、今後とも引き続き継続して行くことが私達の使命だと考えて発表することにしたものである。

平成3年当時は造林、生産、苗畑班で構成され、人員も基幹作業職員42名、定期作業員22名で造林作業、素材生産及び苗木生産に従事してきたところである。

(表-1)

安全作業はもちろんのこと、各種指導通達の認識を深め、「我が班からは災害を出さない、出させない」と言う決意が今日までの無災害につながっているものである。

これからも、継続にむけて職員一丸となって安全衛生活動に取り組んで行く覚悟である。

表-1 人員構成

区分	定員内	基職	定期
平成3年	34	42	22
平成5年	28	34	15
平成9年	19	26	6
平成11年	11	18	4

3 安全活動への取組

国有林野事業も21世紀に向けて、従来の木材生産中心から公益的機能重視へと方向

転換がなされるなど、色々と改革が進められているところである。

現場で働いている私達も、今後の作業内容も変化して行くことが予想されるが、今まで実行してきた造林事業も大幅に縮小され、国有林野の保全管理業務が中心となっていくものと考えているところである。

当事務所では、平成9年度末をもって生産事業も廃止され、それに伴い大型機械を使用することも少なくなるものと思われるので、当然災害の発生頻度も減少し、災害の態様にも色々と変化が出るものと予想される場所である。

そこで、鯨ヶ沢事務所の無災害を継続している理由を述べると次のとおりである。

- (1) 当日の作業指示を受け、安全日誌の引き継ぎの際にヒヤリハットの分析を行い、林業体操で体をほぐし、「今日も安全作業に徹して行こう」と言う心構えをきっちりと持って実行していること。

(表-2)

- (2) 現場と所内の関連から言えば、各種通達の早期伝達、災害の分析と現場での森林官を中心とした綿密なミーティングを実施して、作業環境や類似災害の防止を仲間同士しっかりと確認し合い、その日の作業に臨んでいること。

- (3) 安全衛生委員会の審議結果についても、現場で即対応出来る体制を整えていること。月々の目標もしっかりと見据え、的確な指導がなされ、それを現場では素直に受けとめて実行していること。

(表-3)

- (4) 決して押しついたり、プレッシャーを与えないやり方で、各現場に定着されるような指導方法がとられていること。
- (5) 安全管理者、安全管理補助者、安全推進員とそれぞれの職務分担はあるが、各自の立場を認識し無災害継続に向けて努力していること。

表-2 重点目標 (一例)

年 間 重 点 目 標	1 労働災害の絶滅
	2 自主健康管理の確立
	3 蜂刺され災害の予防
	4 交通災害の根絶

表-3 月別目標 (一例)

月 別	目 標 項 目
四月	交通事故の防止
八月	蜂対策の完全実施
十二月	足場の安全確保と足元に注意

4 衛生活動への取組

毎月、各班交互に看護婦による衛生巡回を実施し、血圧測定を実施して各人の健康チェックを行うほか、減塩食品の取り方等食生活の指導を受けながら、高血圧や糖尿病等生活習慣病の予防に努めており、現在までのところ長期病欠者は一人もいないことである。

幸いなことに、鯨ヶ沢事務所管内には世界遺産に登録されている白神山地のブナ原生林がある。この大自然の中で仕事が出来私達仲間は大変幸せ者だと思う一方で、こん

にち、国民に開かれた国有林を目指している状況にあることから、私達にも、それに対応すべく様々な役割が課せられるものと思われる。日頃、健康管理については人一倍気を使っている私達であるが、国民のために出来ることは、私達の精悍な顔立ちと健康な肉体を保っていくことも、一つの役割と考えているところである。

今後、現場で働いている私達にどのような作業内容が求められるか知らないが、体には多少自信があるので、国民の負託に応えられるよう今から気を引き締めて頑張っていく覚悟であるが、その為にもまず快適な職場環境を維持していくことが大事だと思っているところである。

5 ま と め

仲間とのチームワークはもちろんのこと、これからも安全作業の基本である「やっ
てはならないことは絶対やらない、守るべきことは絶対守る」と言うことを誓って、
鱒ヶ沢事務所としてもあってはならない重大災害を撲滅していくことである。

連続無災害3,000日という時期を迎えるが、改めて先輩方の成果がこのような偉大な結果を生んでくれたものと感謝している。今後はこの記録を更に延ばして行くために、先輩のおしえを守り鱒ヶ沢事務所の安全衛生活動を活発に展開して行く考えである。(表-4)

当事務所作業班も年々高齢化が進んで来ていることから、災害はいつ起こるか解らないが、連続無災害十年と言う目標に向けて、災害の言葉そのものが死語となるよう今後ともチームワークを大切に、「私達の班では公務災害の経費は必要ありません」と言うことを訴えていく考えである。その分をどうか他の必要な部分に使っていただきたいと思っているところである。

(表-5)

「災害は起こしたくない」と言う気持ちは皆同じ思いであることから、「継続は力なり」と言うことを合言葉に、連続無災害十年を目指して引き続き頑張っていく覚悟である。

表-4 連続無災害十年

日 数	到 達 年 月 日
ス タ ー ト	平成 3年 12月 31日
1, 000日	平成 6年 9月 27日
2, 000日	平成 9年 6月 24日
3, 000日	平成12年 2月 19日
3, 653日	平成13年 12月 31日

表-5 平均年齢

区 分	平 均 年 齢
定 員 内	48歳
基 職	53歳
定 期	54歳